

公益財団法人日本板硝子材料工学助成会

団体情報

代表者 (理事長) 藤本 勝司

住所 〒108-6321 東京都港区三田 3 丁目 5 番 27 号 住友不動産三田ツインビル西館

WEB サイト URL <http://nsg-zaidan.or.jp/>

日本の未来を切り拓く材料研究の活動を支援する



本板硝子株式会社は、無機材料の一つであるガラスから成る製品を社会に提供してきた企業として、研究助成を通じ、広く無機材料全般の研究活動の促進に寄与したいという思いから、同社創立 60 周年を記念して関連会社と共に、昭和 54 年 (1979 年) 3 月に財団法人日本板硝子材料工学助成会を設立致しました。我が国の無機材料の学術と技術の発展への貢献を目的として設立されました当財団は、令和 2 (2020) 年度には 42 年目を迎え、また、平成 21 年 (2009 年) 12 月 1 日に内閣府から新公益財団法人として認定されて以来、11 年目を迎えました。この間、無機材料を中心とする萌芽的な研究に対して、微力ながらも助成活動による貢献を継続してまいりました。

途中から、海外 (指定国) への研究助成、日本で行われる国際会議に対する支援や助成者が研究成果を普及するための活動支援 (多くは海外発表支援) も行っておりますが、日本国内の研究者に対する研究助成が当財団の主事業でございます。お陰様で、設立以来、5,359 件の応募があり、選考した総件数は 1,327 件、助成金総額は 17 億円超を贈呈してまいりました。

助成対象分野はガラス、セラミックス

その他の無機材料全般ですが、最近は、有機無機複合体、ナノ技術を駆使した高機能材料研究や計算材料科学など従来の領域を超えた複合的研究により、多種多様な応用が期待される応募も多くなっています。助成テーマの選考につきましては、各分野を代表される選考委員の先生方により、特に萌芽的な研究を重視した厳正で公正な選考を実施して頂いております。

令和 2 (2020) 年度は、正に新型コロナ禍に翻弄された年となりました。4 月初めには緊急事態宣言が出され、毎年 4 月後半に東京・住友会館にて開催しております研究助成金贈呈式も一旦は延期したものの、残念ながら中止、そして上期の主要な財団会議もすべて書面開催・書面決議となりました。

ご参考までに、平成 31 (2019) 年度に開催されました第 41 回研究助成金贈呈式の式次第と助成者集合写真をご紹介します。

公益財団法人日本板硝子材料工学助成会 平成 31 年度 (第 41 回) 研究助成金贈呈式次第	
日時	平成 31 年 4 月 19 日 (金)
場所	住友会館
1. 贈呈式 (12 階大宴会場)	
(贈呈式)	13:15 ~ 14:05
(1) ご挨拶	理事長 藤本 勝司
(2) 審査経過報告	選考委員長 平尾 一之
(3) 研究助成金贈呈	理事 藤本 勝司
(4) 祝 辞	経済産業省選考委員局長 川崎 雅和 様 本財団理事長 藤本 勝司 様
(5) 研究助成金受領者代表挨拶	京都大学工学部研究科 特定准教授 熊谷 悠先生
(休憩)	14:05 ~ 14:15
(特別講演)	14:15 ~ 14:15
(1) 科学の発展の歴史に学びつつ、これからの科学技術の可能性を考える ―― 東海地区を例として ――	東京理科大学准教授 藤島 昭先生 (14:15 ~ 15:00)
(2) The Design of Functional Solid Materials	英国 C.S.L.A. Materials Science and Engineering 准教授 Prof. Bruce Dunn (15:00 ~ 15:45)
(3) 長期優良が社会を支える ―― 鉄鋼の基礎要素研究を例として ――	日本製鉄株式会社 相談役 友野 宏 様 (15:45 ~ 16:15)
2. 懇親会 (12 階スライロビ)	16:30 ~ 18:00



平成 31(2019)年度 第 41 回研究助成金贈呈式の助成者集合写真

この時は、当財団の設立母体である日本板硝子株式会社創立 100 周年、当財団設立 40 周年にあたり、ご寄付を多く頂き、通常 40 名の国内研究助成者を 50 名に拡大し、また例年 1 件の特別講演を、40 周年記念講演会として、当財団に関係する国内外の著名な方々から 3 件のご講演を頂きました。助成者の方々には大変貴重なお話であったと存じます。

令和 2 (2020) 年度の話に戻りますと、夏には新型コロナ第二波とも言える感染の波が来ましたが、9 月後半から感染状況が比較的落ち着き、例年秋に行っている約 30 社の寄付会社様への活動報告などは 11 月末までに殆ど終えることができました。7 割近くの寄付会社様が訪問を受け入れて頂き、それ以外はオンライン会議等の対応となりましたが、助成活動についてご興味を持って聞いて頂きました。新型コロナ禍は大学・研究機関の研究活動、そして企業収益に対しても影響が大きいですが、このような状況下でも、多くの寄付会社様からは日本の強みの一つである無機材料研究へ継続支援を頂けるお言葉を頂いております。

残念なことに、11 月末からは第三波とも言える感染拡大が続き、この冬の状況が心配されていましたが、遂に 1 月 7 日に首都圏一都三県に緊急事態宣言が再び発出されました。当財団の研究発表会は 1 月 27 日に、Social Distance のため参加者を制限した現地開催 + オンライン配信の形で行う予定でしたが、この緊急事態宣言を受け、開催形態や開催可否を再検討中でございます。今後の対応は当財団のホームページ、<http://nsg-zaidan.or.jp/>をご覧ください。

The screenshot shows the homepage of the Nippon Sheet Glass Foundation for Materials Science and Engineering. The header includes the organization's name in Japanese and English, along with an 'English' language toggle and a 'サイトマップ' (Site Map) link. The main content area features a navigation menu on the left with items like 'トップページ', '財団概要', '財団の助成内容', '助成研究の紹介', '研究助成実績', '情報公開', 'ご寄附のお問い合わせ', '申請書類', '過去の研究助成金贈呈式: 特別講演題目', '過去の学術講演会 (研究発表委員会)', 'お問い合わせ', and 'アクセス'. The central banner displays the organization's mission: '日本板硝子材料工学助成会は、日本の未来を切り拓く材料研究の活動を支援します。' (The Nippon Sheet Glass Foundation for Materials Science and Engineering supports material research activities that open up the future of Japan). Below the banner is a '最新情報' (Latest Information) section with several news items, including the 38th Research Achievement Award ceremony, the 41st Research Support Fund call for applications (with a deadline of 12/10), the 42nd Research Support Fund award ceremony, the 42nd Domestic Research Support Fund introduction, and the annual Research Support Fund award ceremony special lecture topics. A '1979- 成果報告書検索' (Search for Achievement Reports) section is also visible, noting that reports from before August 2018 are available for search.

新型コロナ禍が続く状況では、実験が必須である材料研究を継続することも大変厳しい環境にあると思われます。素晴らしい研究成果を挙げるには、研究者個人の独創的発想が重要ですが、それを具現化するには様々な連携・協力・支援が必要です。当財団も無機材料を中心とした萌芽的・独創的・基礎的な研究に対する支援を40年以上継続してまいりましたが、現在の厳しい状況においても、日本の強みである無機材料分野の研究者の方々が世界の舞台で引き続き活躍できるよう、今後も精一杯の支援を継続する所存です。

恐らく、新型コロナ禍の影響は来年度も続くと予想しておりますが、多くの法人様、そして個人様からのご寄付と保有資産の運用益で殆どの収入が成り立っている当財団としては、財団運営努力を更に重ねると共に、広くご寄付、ご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

(2021.01)